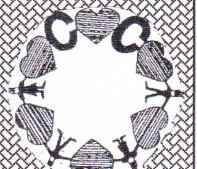


コミキャン就労総合センター・スポット(就労移行支援) 「就職おめでとうございます！」

～ 令和6年度メンバーさん・就職内定者 ～



コミキャン新聞

第152号

大阪市東淀川区
上新庄2-1-40

TEL : 06-4862-6057
<http://www.community-campus.jp/>

コミキャン編集委員会
発行者
社会福祉法人
コミュニティキャンパス

コミキャン新聞に掲載された情報(写真等)の著作権・肖像権は全て当該メンバーさんの保護者の方々と社会福祉法人コミュニティキャンパスに帰属し、無断でこれを複製、利用することを固く禁じます。

就職おめでとうございます



がんばれ
新社会人

社会福祉法人松伯会
特別養護老人ホームエバーグリーン
介護補助
Nさん 21歳 男性

社会福祉法人西谷会
特別養護老人ホーム憩〜江坂〜
介護補助
Iさん 24歳 男性

住友倉庫株式会社
総務部 ハピネス農園
大阪第二ファーム
Kさん 22歳 男性

山崎製パン株式会社
大阪第一工場
商品管理 製品仕分け
Mさん 22歳 女性

就職
おめでとう!

▼令和6年5月に内定を決めたNさん(21歳男性)は、就労移行支援利用中に「介護施設就職で必要となる「介護職員初任者研修」を受講、無事資格を取得され、その後数週間の現場インターンシップのあと、トライアル雇用3ヶ月を経て正式採用されました。



職員初任者研修」を受講、資格取得に頑張っておられました。
▼Kさん(22歳男性)は住友倉庫(株)総務部採用でハピネス農園(水耕栽培)配属、葉物野菜などの生産スタッフとしてチャレンジされています。

▼今年3月にはIさん(24歳男性)が現場実習数か月を経て採用されました。この方についても就職準備として「介護

れます。文字を書くのが苦手な方でしたが、その反復練習を努力されるなど、内定まで事業所へ二度の実習と、就労に必要な調整を続け、採用につながっています。
▼また、今年3月、食品メーカーの山崎製パン株式会社、大阪第一工場

にはMさん(22歳女性)が内定。パン製造工場の商品管理・製品仕分け部門に配属が決まっております。間もなく就労を開始されます。
▼それぞれの実習及びトライアル雇用中は、コミキャン就労総合センターの支援員が事業所の実習現場への訪問や、本人を交えた振り返りを重ね、就労先と職務内容の調整・配慮を進めてきました。

▼採用後はスムーズに職場定着できるように、定期的に支援員を派遣し、事業所及び本人への相談対応をすすめる「職場定着支援」の実施を予定しています。

▼「コミキャン就労総合センター」では、利用者の社会参加(就職)を支援し、一般教養・社会人マナーの習得など就職に関するノウハウや「専門資格」取得をサポートしています。
(コミキャン就労総合センター・小村さん)

このゆびとまれ(教育支援・生活訓練)

第11回 卒業式



2025(令和7)年 3月31日

場 所 : このゆびとまれ教室(吹田市寿町)
 卒業生 : 計11名
 司 会 : 原 音色(はらねいろ) このゆびとまれ 支援員



これから
みんな元気で
頑張ってください

「コミキャンの生活訓練事業所『このゆびとまれ』の卒業式。今年は、この式典で司会も務めた支援員の原さんがレポートしてくれました。

以下、その文章です。

▼今年度も無事に卒業式を迎えることができました。司会を担当した私は、少しの緊張と大きな喜びを胸に、式の開始を待ちました。開始時刻になり、開式の言葉を述べると、式場に静かな緊張感が広がりました。続いて、高岡副理事長からの

温かく力強い祝辞をいただきました。未来への期待と、卒業生一人ひとりのエールが込められたお話に、会場は自然と引き込まれていきました。

▼その後、卒業生による答辞がありました。



このゆびとまれで過ごした2年間の思い出や1年生への応援メッセージ等を伝える姿に司会席からも胸が熱くなりました。

▼式の後半には、卒業生たちのこれまでの歩みを振り返るスライドショーが上映されました。

このゆびとまれでの様子や行事の写真、仲間と笑い合う瞬間がスクリーンに映し出されるたび、会場からは温かい笑い声や感動の涙で賑わいました。司会をしながらも、懐かしい映像に思わず見入ってしまった。そっぴなな瞬間でした。



▼閉式の言葉を述べた瞬間、会場全体がほっとしたような、でもどこか名残惜しいような空気に包まれました。

▼最後には卒業生たちへの新たな門出を祝福気持ちを込めて、全員で心を合わせた拍手が響くなか

「Mrs. Green Apple」の曲と共に退場して行きました。

式が終わった後も、卒業生たちは名残惜しさに仲間やスタッフと言葉を交わし、たくさん笑顔があふれていました。

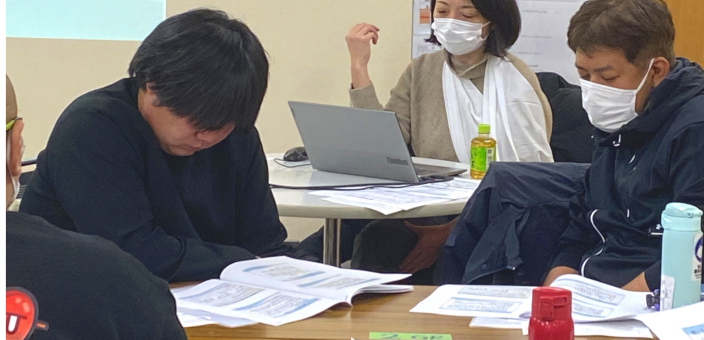
▼新たな道へと進む卒業生たちの未来が、明るく希望に満ちたものであることを心から願っています。

思い出に残る、温かい卒業式となりました。

(このゆびとまれ支援員・原さん報告)

障がい者・高齢者福祉分野における職員研修 “虐待防止について考える”セミナー&ディスカッション 【同時開催「虐待防止委員会」「身体拘束適正化委員会」を兼ねる】

日時：2025年2月14日
会場：吹田市立内本町コミュニティセンター
参加：管理職員ほか一般職員 計26名
講師：弁護士 東 奈央 先生（大阪弁護士会・つぐみ法律事務所）



▼令和7年2月12日(水)、大阪弁護士会の「東奈央先生」をお招きして、職員研修を実施。テーマは「障がい者・高齢者分野における虐待防止について考える」と題してご講演いただきました。

また府内各所で現場対応する管理職が頻繁に一堂に会することが難しいこともあり、今回の機会を活用して「身体拘束適正化委員会」「虐待防止委員会」も兼ねて開催することとしました。

(※講師の東先生は、ご講演当日、自転車事故にあわれ、病院で治療を受けその足で会場に駆けつけられました。そのため写真のとおり、左腕を首から下げてられます)



▼虐待には
①身体的虐待、
②性的虐待、
③心理的虐待、
④放棄・放任(ネグレクト)、
⑤経済的虐待
が、障害者虐待防止法に明記されており、“
何人も障害者に対して虐待をしてはならない。”と謳われています。

講演では、全国の虐待事例をもとに、何故虐待がおきているのか、何処で起きているのか、何が虐待にあたるのかなどについて理解を深めました。

▼第一部の講演のあと、テーブルを4グループに分け、法人内の具体的なケースをも



と、それぞれでグループディスカッションを進めました。
各班では、現状の報告や提案など、発言の内容を整理記



録し発表につなげています。
各班の成果発表を参加者全員が聞いて情報を共有し、これからの支援活動に大いに参考になる(参加者談)イベントが得られたようです。

「コミキヤン」研修委員会
理事・谷中さん報告

東淀川区発行の「広報ひがしよどがわ」が
コミキャンサポートセンター・谷中ケアマネに注目！

東淀川区の「広報ひがしよどがわ」今年2月号で、コミキャンサポートセンター・谷中ケアマネジャーが大きくとり上げられています。

▼東淀川区では、「在宅医療・介護連携推進事業」を展開。医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者などが、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けていくためには、地域における医療・介護の関係者が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療と介護を提供することが重要となります。大阪市では、多職種が協働することにより、在宅医療と介護を一体的に提供できる体制を構築するため、医師会などと連携しながら、医療機関や介護事業所などの関係者の連携推進

▼そこで、高齢者などが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けるためには、介護を必要とする方の相談に応じ、訪問介護やデイサービスなどの適切な介護サービスが利用できるように、ケアプランの作成や調整を行う介護のスペシャリストが必要になります。その役割を担うのがケアマネジャーです。その特集記事で、東淀川区のケアマネジャー代表として、コミキャンサポートセンター・谷中ケアマネに白羽の矢が立ったのです。

[illegible]

情報などを共有し
 問題解決の事例を
 たクアマナで
 定期的な訪問を行い
 用調整や、ご本人
 々な介護保険サ
 ケアプランを立て

ひがしよどがわ
 介護支援センター
 福山 347-5

住み慣れた場所で、自分らしい生活
 介護のこと ケアマネ

【ケアマネの業務：役目を果たしてください】
 要介護や要支援認定の方が、住み慣れた自宅で生活できるように、よりよい介護生活を支えるために必要な支援を行います。ケアマネの業務は、介護保険制度に規定されたサービスと、ケアマネ独自のサービスとで構成されています。ケアマネは、ご本人への適切な介護を提供します。また、ケアマネはケアマネとして、毎年の介護保険料の算出や介護保険料の滞りなく納付のために、関係する機関と連携して行います。

社会福祉法人
 福山こども・子育て支援センター
 介護支援センター「ひがしよどがわ」
 中 優仁

ケアプランの作成
 定期的な訪問
 介護保険の申請

[illegible][illegible]

2025 (令和7年)

2

No.345

発行日 毎月11日
(4月号は3月13日)

つながる、広がる、好きになる

ひがしよどがわ

2025年度
100周年



2025年4月1日
創刊100周年を迎えます

住み慣れた場所で、自分らしい生活を続けるために

介護のこと ケアマネジャーに ご相談ください



在宅医



ケア
マネジャー

精神科医師
精神科衛生士

薬剤師

訪問
看護師



ホーム
ヘルパー

民生委員

理学療法士

病院

介護施設

区役所

地域包括
支援センター
総合相談窓口
(プラナ)

認知症
支援チーム
(ほほま
オレンジチーム)

在宅医療・介護連携推進事業

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者などが、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けていくためには、地域にける医療・介護の連携が重要で、包括的かつ継続的な在宅医療と介護を提供することが重要で、大抵市では、多職種が協働することにより、在宅医療と介護を一体的に提供できる体制を構築するため、医師などと連携しながら、医療機関や介護事業所などと同僚関係の連携推進に取り組んでいます。

3 在宅医療
連携推進

11 在宅医療
連携推進

17 在宅医療
連携推進





ケアマネジャーと介護について、詳しくは8ページをご覧ください

2月号
目次

在宅医療で、自分らしい生活を続けるために
介護のこととケアマネジャーに
ご相談ください

1-6
大塚山荘の暮らし

2-4
認知症と介護の連携

5-7
認知症と介護の連携

2月号
目次

在宅医療で、自分らしい生活を続けるために
介護のこととケアマネジャーに
ご相談ください

1-6
大塚山荘の暮らし

2-4
認知症と介護の連携

5-7
認知症と介護の連携

2月号
目次

在宅医療で、自分らしい生活を続けるために
介護のこととケアマネジャーに
ご相談ください

1-6
大塚山荘の暮らし

2-4
認知症と介護の連携

5-7
認知症と介護の連携

2月号
目次

在宅医療で、自分らしい生活を続けるために
介護のこととケアマネジャーに
ご相談ください

1-6
大塚山荘の暮らし

2-4
認知症と介護の連携

5-7
認知症と介護の連携

2月号
目次

在宅医療で、自分らしい生活を続けるために
介護のこととケアマネジャーに
ご相談ください

1-6
大塚山荘の暮らし

2-4
認知症と介護の連携

5-7
認知症と介護の連携

2月号
目次

在宅医療で、自分らしい生活を続けるために
介護のこととケアマネジャーに
ご相談ください

1-6
大塚山荘の暮らし

2-4
認知症と介護の連携

5-7
認知症と介護の連携

2月号
目次

在宅医療で、自分らしい生活を続けるために
介護のこととケアマネジャーに
ご相談ください

1-6
大塚山荘の暮らし

2-4
認知症と介護の連携

5-7
認知症と介護の連携

2月号
目次

在宅医療で、自分らしい生活を続けるために
介護のこととケアマネジャーに
ご相談ください

1-6
大塚山荘の暮らし

2-4
認知症と介護の連携

5-7
認知症と介護の連携

2月号
目次

在宅医療で、自分らしい生活を続けるために
介護のこととケアマネジャーに
ご相談ください

1-6
大塚山荘の暮らし

2-4
認知症と介護の連携

5-7
認知症と介護の連携

2月号
目次

在宅医療で、自分らしい生活を続けるために
介護のこととケアマネジャーに
ご相談ください

1-6
大塚山荘の暮らし

2-4
認知症と介護の連携

5-7
認知症と介護の連携

2月号
目次

在宅医療で、自分らしい生活を続けるために
介護のこととケアマネジャーに
ご相談ください

1-6
大塚山荘の暮らし

2-4
認知症と介護の連携

5-7
認知症と介護の連携

2月号
目次

在宅医療で、自分らしい生活を続けるために
介護のこととケアマネジャーに
ご相談ください

1-6
大塚山荘の暮らし

2-4
認知症と介護の連携

5-7
認知症と介護の連携

2月号
目次

在宅医療で、自分らしい生活を続けるために
介護のこととケアマネジャーに
ご相談ください

1-6
大塚山荘の暮らし

2-4
認知症と介護の連携

5-7
認知症と介護の連携

2月号
目次

在宅医療で、自分らしい生活を続けるために
介護のこととケアマネジャーに
ご相談ください

1-6
大塚山荘の暮らし

2-4
認知症と介護の連携

5-7
認知症と介護の連携

2月号
目次

在宅医療で、自分らしい生活を続けるために
介護のこととケアマネジャーに
ご相談ください

1-6
大塚山荘の暮らし

2-4
認知症と介護の連携

5-7
認知症と介護の連携

2月号
目次

在宅医療で、自分らしい生活を続けるために
介護のこととケアマネジャーに
ご相談ください

1-6
大塚山荘の暮らし

2-4
認知症と介護の連携

5-7
認知症と介護の連携

2月号
目次

在宅医療で、自分らしい生活を続けるために
介護のこととケアマネジャーに
ご相談ください

1-6
大塚山荘の暮らし

2-4
認知症と介護の連携

5-7
認知症と介護の連携

2月号
目次

在宅医療で、自分らしい生活を続けるために
介護のこととケアマネジャーに
ご相談ください

1-6
大塚山荘の

記事の中で、谷中ケアマネは以下のように語っています。

▼ケアマネの業務・役割について、

「要介護者や要支援者の方が、住み慣れたご自宅や地域、施設などで、

受けたりしています。」
▼また、日頃の業務の中で
気を付けていることについ
ては「ご自宅訪問の際は、
生活の場に訪問するため
あくまでも利用者さんのペー
スに寄り添いながら、お部
屋の環境や過ごされている
様子を観察し、会話の中か
ら把握していきます。提案

民の皆さんへのメッセージ
 ▼さらに、今後の課題や区

[illegible]